

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-1

4-I-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	県内主要箇所から佐渡までのアクセス方法の確認・整備
	節		
事業(施策)名	1 佐渡渡航アクセス方法情報提供	事業主体	佐渡市観光振興課
		事業実施期間	H28～R4
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○県内主要箇所から佐渡までのアクセス方法を確認し、分かりやすい情報提供を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○主要な駅、高速道路等から佐渡汽船乗り場までのアクセス方法や運行状況、道路の渋滞、駐車場の混雑状況等について、インターネット等ICTの活用、観光案内所でのパンフレット配布などにより 情報提供機能の強化を図る。</p>	関連団体	佐渡市交通政策課、県観光協会、佐渡観光交流機構、佐渡汽船株
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光総合パンフレット「佐渡さんぼ」を年1回60,000部作成し、県内主要箇所からのアクセス方法を掲載する。 ●佐渡観光ナビで県内主要箇所からのアクセス方法を案内し、スマートフォン等で容易に検索できるよう整備する。 <p>【元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●佐渡汽船や新潟交通佐渡、佐渡観光交流機構と連携し、佐渡さんぼに佐渡汽船航路ダイヤやレンタカー情報、バス路線情報を盛り込み60,000部作成した。 ●佐渡汽船内や待合室等、市内観光案内所、観光施設に「佐渡さんぼ」を配置した。 ●さど観光ナビにランディングページとして「意外と近い佐渡島」のページを作成。首都圏を主とした交通案内の特集を掲載した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>■来訪者、特にインバウンドの情報取得手段がwebに移行しているため、オウンドメディアの充実、利便性の向上が求められる。それと同時にオウンドメディアに誘導しやすくするための動線作りと、サイトユーザーのデータ分析の体制構築も必要。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■さど観光ナビでアクセス方法についての記事を充実させ、なおかつTOPからすぐにとどり着けるようわかりやすい構成とする。</p> <p>■webを使った広告宣伝において「さど観光ナビ」へのリンクを掲載し、当該サイトへの誘導を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a・b・c]</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>[a・b・c]</p> <p>【総合評価】</p> <p>[A・B・C]</p>	<p>◇紙面とwebの両面からアクセス方法についてのPRができた。特にwebではただの交通案内ではなくメッセージ性をもって案内記事を書くことでより求心力のある内容になったかと思う。</p> <p>一方で、効果に関しては紙面媒体で測定ができないほか、webのユーザー情報も深く検証できておらず、今後検討が必要。</p>	

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。